

増えています。



# 梅毒って病気を知っていますか？

セックスでうつる病気です。フェラチオやキスでもうつることがあります。  
(梅毒トレポネーマという細菌が原因です)

感染 3 週間後、唇に「くぼみ」ができてきました。



感染 3 か月後、お腹や全身の皮膚に痛くも痒くもない「ピンク色の発疹」が出てきました。



梅毒の症状は「性器」に多く現れます。セックスをしてから3～4週間ぐらいで「しこり」「くぼみ」ができたら、診察を受けましょう。

梅毒は「偽装の達人」とも呼ばれ、微熱程度の軽い症状だけであったり、症状がないこともあります。血液検査を受けなければわかりません。



性感染症の予防には  
コンドームの着用が  
不可欠ですが、  
それだけでは梅毒は  
防げないことがあります。

感染 3 か月後、手のひらに痛くも痒くもない「カサカサした斑点」が出てきました。放っておいても消えますが、病気がすすんでいきます。



## 「診断には簡単な血液検査が必要です」

「梅毒血清反応検査(梅毒抗体検査)」といいます。症状があってもなくても保健所で無料で相談・検査が受けられます。検査は少量の血液を採取するだけです。

梅毒は、診断を受けて抗生素質を正しく服用すれば治すことができます。治療は皮膚科、泌尿器科、産婦人科などで受けられます。

梅毒と同じ時期に性器ヘルペス・HIV感染症などの病気になることもあります。これらも薬で治療できます。